

トップメッセージ

当社は、平成13年5月に九州電力の新規事業として設立し、「財団法人日本品質保証機構(JQA)」が示す施設全体のセキュリティ設備、業務運営の安全基準及び機密保持基準を満たす、九州で初めての「リサイクル処理センタ安全対策適合認定」を受けた機密文書専用処理施設(福岡セキュリティセンター)を建設し、機密文書処理の専門会社として誕生いたしました。

当社は、お客さまのCSR経営を機密文書のセキュリティ管理と環境の側面からサポートさせていただくために、平成21年8月にレコードマネジメント機能を整備した第2処理施設と第3書庫を竣工し、文書・記録情報の電子化から保管管理、機密廃棄処理に至るまでのライフサイクルを一貫してサービスするバックアップオフィス機能を強化し、お客さまの情報リスク管理のニーズにお応えできるようにいたしました。

このたび、従来の重要機密文書の機密廃棄処理だけではなく、お客さまからのご要望であるBCP(事業継続性)やセキュリティインシデント対策として、文書・記録情報管理全般にわたるきめ細かいサービスをご提供する企業として事業を拡大することになり、平成28年1月1日をもって、社名を「記録情報マネジメント」に変更させていただくことになりました。

今後とも、当社独自の循環型リサイクルシステムの運用を通して「安心」と「信頼」をお届けするとともに、更なる情報セキュリティの強化や環境保全活動によりお客さまのコンプライアンス経営を支え、地域社会の発展にお役に立つよう努めてまいります。

代表取締役社長 高藤 英夫